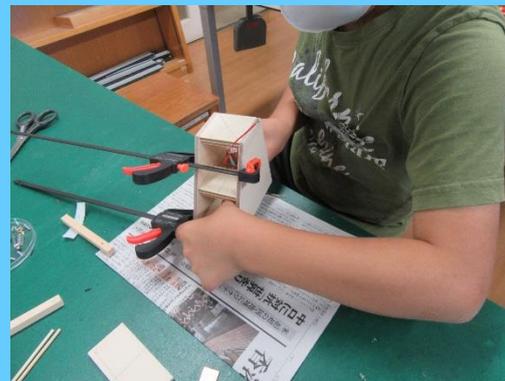
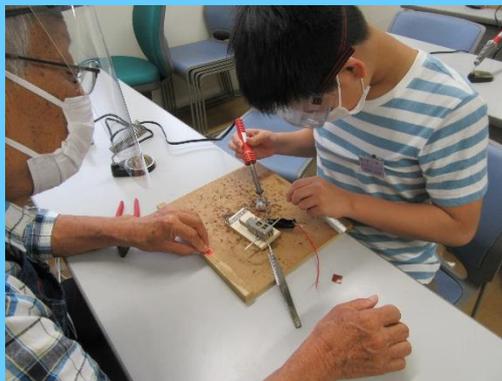


令和3年9月26日（日）

6年生「茶運びロボット」

【 茶碗を盆に乗せるとスイッチが入り、動くことを理解する 】



6A 釘田 航さん

ロボットのうでの部分にゴム管をつけるのがすごくむずかしかったです。メガネを忘れてあまり見えなかったけど、おくれても何とか作れたから良かったです。パークランプはまだ2回くらいしか使ったことがないから、使うのが難しかったです。はんだづけする場所が多くてたいへんでした。最初は仕組みがまったく分からなかったけど、作るにつれて反発する磁石を重さで上からおすと、動くようになるのが分かりました。別のぶひんを使ってかいそうすれば足がタイヤじゃなくて人みたいな足にできそう。

6B 加藤 煌々さん

ゴム管を半分に切って入れるのが、力があるのすごくむずかしかったです。また、モーターを作る時に、ねじを強くしめすぎてしまい穴がけずれてぬけてしまったので、次からはしめすぎないようにしたいです。初めは、どんなものになるのか想像ができなかったけど、だんだんやっていくうちに、どんな感じになるのかうかび上がってきました。また、磁石が反発して動くなんで思っていなかったのが、最後に「そういうことか！！」と思いました。もっと盆板を大きくして色々なものを持ってきてもらおうと思いました。